

利根中央病院

病院

だより

第26号  
2011年1月

企画発行 利根中央病院地域連携室  
〒378-0053 群馬県沼田市東原新町1855-1  
電話 0278-22-4325(直通) FAX 0278-22-4393  
URL <http://www.tonehoken.or.jp/>  
E-Mail [master@tonehoken.or.jp](mailto:master@tonehoken.or.jp)

理念と方針

**理念** 安心と安全、参加と協同  
患者中心のチーム医療

**方針** 救急体制の充実、いつも安全確認  
絶やさぬ笑顔  
診療情報提供と共に作る診療計画  
広げよう人と人との結びつき  
すすめよう健康づくりまちづくり



あけまして  
おめでとうございます

2011

# 総合病院の機能維持できるよう 職員一同奮闘します

利根中央病院 地域連携室  
室長（副院長）糸賀俊一



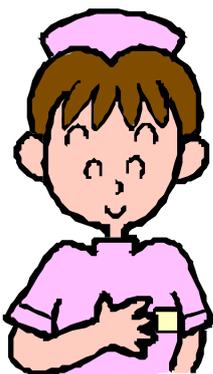
新年 明けましておめでとうございます

年明け早々VRE院内感染で記者会見、関係各位の皆様には大変ご心配とご迷惑をおかけして誠に申し訳ありません。現在、利根沼田保健福祉事務所、県衛生環境研究所等の指導の下、嚴重な感染対策を実行しています。

1月8日の発生以降、当院入院患者全員の培養検査を施行しましたが、新たな感染患者は発生しておりません。今後入院制限の解除にむけて近々検討することになっております。この間、転院患者様の受け入れや、緊急患者様の受け入れに御協力、対応していただきました各病院及び関係者の皆様には、あらためて御礼申し上げます。

利根中央病院としては、今年も医師の退職が明らかになり、循環器内科の医師2名が退職になります。循環器外来2 - 3単位、と応援の常勤医1名の確保のめどがたってきましたが現状は厳しく、紹介が必要な患者様の情報提供書の作成や、丁寧な患者指導を心がけるよう努力してまいります。

地域の人々の健康を守り、当院が総合病院としての機能を維持していけるよう、医師、職員一同最大限の努力をする所存です。今後も御協力のほどお願い致します。



# 循環器内科の対応について

= 医師退職に伴うお願い =

今年度末の循環器科医師2名の退職に伴い、循環器科患者様のご紹介をお受けできない状況となっており、ご心配・ご迷惑をおかけしております。大変申し訳ございません。

この間、当院では循環器科医師の確保に努めてまいりましたが、残念ながら常勤医師の後任は現在確保できておりません。当面、新規の循環器科患者様のご紹介は受け入れできない状況です。今後、循環器科医師が確保できた時点で再度お知らせさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

またこのような状況ですので、当院の循環器科患者様のなかで、他の医療機関の受診をご希望する患者様も多数いらっしゃると思います。貴院へ患者様をご紹介する際には何卒よろしくお願い申し上げます。

## 沼田利根医師会 症例検討会が行われました

12/6(月) 18:00～ 研修棟講堂にて、症例検討会が開催されました。今回は、整形外科 金澤先生による症例報告と、数年にわたって片品村で健診活動を行っている群馬大学整形外科教授の講演でした。わかり易い講義内容で、質問や意見も多く出され充実していました。

参加人数は74名(院内医師18名、院外医師6名、院内コメディカル48名、院外コメディカル2名)でした。

< 症例報告 > 整形外科 金澤先生

「当院における糖尿病合併患者での  
大腿骨近位部骨折の手術待機期間について」

< 講演 > 群馬大学整形外科教授 高岸 憲二

「五十肩と腱板断裂 ～片品村での健診を踏まえて～」



## 第4回 利根中央病院 院内災害訓練 ～ 本格的救急処置訓練～

災害対策委員会

大きな被害と多くの傷病者をもたらした阪神淡路大震災以来、集団災害訓練が各所で行われてきています。形式的なものから実践的なものまで、様々だと思えます。

今回で第四回目を迎える当院災害訓練が、平成22年11月6日（土）に行われました。

当院では、傷病者に必要な観察や処置を行った上で診断・治療を進めていく、より実践的な集団災害訓練を行ったので紹介したいと思います。

今回は「みなかみ町の旅館がガス爆発にて建物崩壊事故発生。負傷者90人の内、傷病者50人の受け入れ要請あり」という想定で行われました。

通常診療と異なり、限られた医療スタッフの人数で診療せねばなりません。速やかに本部を立ち上げ、その指揮により重傷度に選別した診療が行われます。

昨年度同様、災害医療のために養成された院内認定看護師トリアージナースも活躍しました。必要な知識・技術の習得と迅速な行動力を持ったトリアージナースが養成されたことで訓練時のみならず実際の災害時、被災者の医療支援体制がより充実したと言えます。

今年度も多くの看護学生や医学生が傷病者役で参加してくれました。昨年同様、傷病者役には、リアルさを演出するため特殊メイクが施され、重症度に相応する扮装をし、さらに細かな演技指導が行われました。リアルなメイクと演技指導に緊張感が高まっていて、各自それらしい傷病者になりきりました。学生たちは傷病者の演技をしながらも医師や看護師の手際の良い処置を真剣に見ていました。

また、上毛新聞社さんも取材にみえて記事として掲載され、県医務課の方々をはじめ、伊勢崎市民病院や佐波医師会病院さんより十数名が見学にみえていました。

多くの方に当院での災害訓練を知っていただけた良い機会にもなったと思います。

訓練終了後、当院DMAT隊と利根沼田広域消防の方々による今回の想定を意識し特殊機材を使用した本番さながらの救助がデモンストレーションとして行われ、大好評でした。

## 訓練当日の様子紹介



### レッドゾーン(赤)

治療が最優先される重傷者が搬送され、トリアージナスが全身観察を速やかに行われています



### イエローゾーン(黄)

突然、患者が様態変化！？ AEDにて緊急処置が施され、その後、レッドゾーンへ。何が起こるかわからない緊迫した一面です。



### グリーンゾーン(緑)

外来待合室の椅子も緊急時には、簡易ベッドに早変わり医事課職員も搬送にトリアージタグに記入とチームで連携が必要とされます。



← 写真は、顔面蒼白で腹部には異物が刺さり、大腿は出血性開放骨折・・・リアルな特殊メイクがされ、患者役として役に成りきろうとしています。

# 禁煙外来開設のお知らせ

踏み出そう ファーストステップ

続けよう エブリディ

利根中央病院 内科医長

原田 孝



いつも大変お世話になっております。当院で呼吸器外来を担当させていただき、今年で15年目になります。今まで、多くのCOPD患者様とお付き合いさせていただいてきました。平成19年からは、多職種からなる「チームCOPD」を結成し、包括的なサポートを目指しています。その活動の一環として、喫煙に関するアンケート調査をおこなったところ、平成20年の時点で、約180名のCOPD患者様のうち20名以上が喫煙を続けられていたことがわかりました。苦しくて吸えなくなるまで喫煙を続けられた方もいらっしゃいました。アンケート結果を参考にして、内科外来の看護師を中心に様々な取り組みをしてきましたが、今も禁煙できない方がいらっしゃいます。禁煙指導の大変さを実感しつつ、「もっと早くに禁煙すればよかった」とおっしゃっていた方々の無念さを忘れず、これからも多くの方に禁煙をお勧めしたいと思っています。

さて、本年1月1日より、当院においても、ようやく敷地内禁煙が実現され、禁煙外来を開設できることになりました。禁煙外来の保険適応となる患者様は、以下の3つの条件を満たす方々です。

- ・禁煙指数（1日の本数×年数）が、200以上の方
  - ・質問表によるスクリーニングテストによりニコチン依存症と診断された方
- そして何より大事なのが、
- ・禁煙の意思表示がある方

ということになります。全治療期間は3ヶ月です。最初は2週間毎に来院していただき、計5回のプログラムとなっています。それに同意していただいた方が対象となります。

内容としては、医師、看護師によるアドバイスを中心に、薬剤も使用して、禁煙をサポートさせていただきます。患者様、一人ひとりの病歴や、生活環境に寄り添った柔軟かつ細やかな外来を心がけたいと思っています。呼気中の一酸化炭素濃度を測定することにより喫煙状況を把握する、「スモーカーライザー」という機械も有効に使用するつもりです。

薬剤としては、ニコチン代替療法（ニコチンパッチやガム）や、ニコチンを含まない禁煙補助薬「チャンピックス」を使用します。これはニコチン受

容体に結合して喫煙による満足感を減らす、すなわち、タバコを吸ってもおいしく感じなくなる作用と、少量のドーパミンを放出することにより、禁煙の離脱症状を軽減する作用があります。

投与方法としては禁煙を始める1週間前から内服し、維持量まで増量します。内服期間は12週間です。副作用としては、吐き気などの消化器症状や頭痛の報告があります。また、精神疾患で治療中の方は主治医の先生にもご相談していただきたいと思います。昨年10月のタバコ値上がり以降、需要が増え、一時期は、新規患者様への使用が不可能な状態でしたが、現在は安定した供給が得られるようになりました。

禁煙外来による禁煙成功率は60～70%とされています。長期的に禁煙を続けられますようにアフターケアの方法も考えていきたいと思っています。

禁煙外来は、水曜日の午後です。地域連携室が窓口となりますので、詳細はお問い合わせください。（連絡先 0278-22-4325）

巻末に原田内科医長作詞・作曲

「踏み出そうファーストステップ 続けようエブリディ」歌詞あり

## クリスマスコンサートが行われました

12月25日（土）14:15～内科外来待合室にてクリスマスコンサートが行われ、病棟の患者様を中心に約60名が参加しました。

菅家さん、金井さんの元気な司会のもと、諸田技士長のキーボードと検査深代さんのオカリナ演奏で幕を開け、ベル・コーロによるハンドベルと歌、大塚先生らによる弦楽三重奏、ピュアトーンによるコーラスと充実した内容でした。ハンドベルは息もぴったりと合い、素敵な音色でした。

また、いきもののがかりの「ありがとう」の曲も、ハーモニーがすばらしく感動しました。弦楽三重奏は、大塚先生と新行内薬剤師に加え、栄養課の林あやのさんが新メンバーになり、2曲を披露してくださいました。

ピュアトーンはクリスマスソング5曲を歌いました。最後に登場したサンタ三人組は、会場の皆様の笑顔を誘い、また、思わぬプレゼントに涙ぐむ場面もありました。

患者様に癒しのひと時を過ごしていただきたい・・・という願いで始められた看護部主催のコンサートも3回目。2011年度は良い年にしたいですね。

ご協力していただきました皆様、ありがとうございました。



看護部

# 踏み出そうファーストステップ 続けようエブリディ

原田 孝 作詞・作曲

- 1 踏み出そう ファースト・ステップ  
続けよう エブリディ  
きっかけは今 あなたと出会った
  
- 1 悪いとわかってることなら 迷わず やめよう  
とらわれていたことが 不思議に思えるよ  
  
今さらなんてことはない 今から始まる物語  
一人ではくじけそうでも 一緒なら 大丈夫
  
- 2 踏み出そう ファースト・ステップ  
続けよう エブリディ  
あなたとともに 生きる幸せ
  
- 2 無理なんかしなくていい 今できること きっとあるはず  
たとえ一歩ずつでも 前に進んでる  
  
今さらなんてことはない 今から始まる物語  
一人ではくじけそうでも 一緒なら 大丈夫
  
- 1 くり返し
  
- 3 疲れたら ペースダウン 時には一休み  
そして 見上げよう 晴れ渡る 大空を  
  
雲を運ぶ 風に感謝 澄んだ水の 流れに感謝  
そして となりの あなたに ありがとう  
  
誰にもいつか訪れるゴール 顔を上げて くぐりたい  
どちらが先に 着いたとしても きっと また会える  
そこで笑って話せるように 今できること きっとあるはず
  
- 1 くり返し
- 2 くり返し

当院に赴任当初、高齢の患者様が多いことに驚きました。（前の病院が太田市の富士重工の病院だったこともあります。）さらに、この15年で地域の介護力はずいぶん低下していると思います。当院の医師体制も弱体化してしまい、地域の期待に副えなくなってしまっています。こんな状況だからこそ、禁煙をきっかけに、一人一人が健康について考え、みんなで幸せへの一歩を踏み出せばいいなと思っています。これからも、よろしく願いいたします。

そんな想いをこめて曲を作りました。すでに病院祭や禁煙講演会などで演奏しておりますが、現在、「利根中軽音楽部（？）」のメンバーによりレコーディング準備中です。